

事業所名

ライシャワー学園きこえサポートセンター

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026 年

7 月

30 日

法人（事業所）理念		キリスト教精神に基づいた聴覚主導の人間教育を行い、共感的、対話的人間性を育む取り組みを通して、幼児、児童、生徒個々の能力や個性を伸ばし、一人ひとりが自立して社会に仕える人となるよう支え導く。							
支援方針		補聴器、人工内耳を通して声や音に気づき、親と子どもが正しくかわりあうことを通してことばの基礎を築き、創造力を伸ばし、良い生活習慣が身につくように支援します。							
営業時間		8 時	30 分	から	16 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	こぶしの木では活動の流れがわかるようにし、子どもが見通しをもって安心して取り組めるようにします。一日の中で放課後の時間を充実していくことで、生活リズムも整うように支援していきます。家庭で一人ではできにくい習慣も、お友達と一緒に経験することによって、より良い生活習慣が身につくことが考えられます。							
	運動・感覚	様々な身体的な刺激が、脳の発達に繋がります。活動の中で運動や自然とのふれあい等を経験し、心身の健やかな成長を支援します。							
	認知・行動	活動を通して様々な経験を積み重ね、周囲の出来事や物事の関係性を理解したり、自ら考えて行動が出来るように支援します。 きこサポ個別の中では、自らの気づいたこと考えたことをその子のペースに合わせて進めていくことで、子どもの理解や安心につながります。							
	言語 コミュニケーション	ことばでやり取りする経験を重ねていき、自らの思いを相手に伝えられるように支援します。							
	人間関係 社会性	同じ聴覚に障害のある子ども同士で安心して関わりながら、コミュニケーションや心の成長を支援します。							
家族支援		こぶしの木は子どもが放課後に安心して過ごせる場を提供することで、保護者にとっての安心や育児負担軽減につながると考える。きこサポでは保護者プログラムで面談や懇談を通して相談できる場を提供するようにしている。				移行支援		普通校に通う子どもたちの支援として、在籍校でのきこえの環境整備、関係者への補聴機器の扱い方、友達とのかかわりについて、連携して進めている。	
地域支援・地域連携		町田市内の難聴言語学級の先生方との話し合いを実施している。 学校公開日を設けて、専門職、当事者、保護者に本校の教育に触れる機会をつくるとともに、相談できる場を設けている。				職員の質の向上		全職員を対象に法定研修を実施する。 学期末研修で職員の専門性向上に努めている。	
主な行事等		こぶしの木は夏季に特別なプログラムとして郊外活動も予定している。 きこサポでは始業礼拝・終業礼拝、保護者懇談等の保護者プログラムを実施する。							